

備えてますか 冬の災害

冬は被害が最も大きくなる季節

厳しい寒さ、火災などのリスクが増す冬は、これまでの備えに加えて、考えた防災対策が必要です。

問い合わせ 総務課（市庁舎5階、☎65・4103）

北海道において大地震の被害が最も大きくなるのが、冬期間といわれています。寒さによる健康被害に加えて、暖房器具を使う機会が増えることにより、火災の発生が多くなる恐れがあるためです。冬の災害を想定して、一人ひとり命を守る備えを確認しましょう。

寒さから命を守る

停電時に使えるストーブの備え

停電になると、普段家庭で使われている暖房器具の9割以上が使えなくなるといわれています。外気温が氷点下20度を下回る日もある中、数日間、電力が復旧しないことも想定した備えが必要です。

- CHECK!**
- コンセント電源がいらなくない暖房器具
 - 燃料



例)対流型石油ストーブ

食料や水と防寒具の備え

冬の災害時には、寒さ対策が重要です。防寒具は災害用の特別なものもありますが、日常で使うものでも十分役立ちます。冬の備蓄品は、食料や飲料水などに加え、防寒具をまとめておきましょう。

- CHECK!**
- ジャンパー、トレーナーなどの上着
 - 防寒用の帽子、手袋、厚手の靴下
 - 毛布、使い捨てカイロ



非常用



冬の備え



常時備え

寒さなども

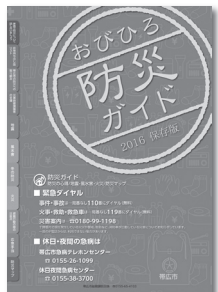
温かい食事ができる備え

体を温めるには、温かいものを食べるのが大切です。電気やガスなどのライフラインが断られた状況下では、カセットこんろなどが欠かせません。冬の間はボンベなど燃料を多めに用意しましょう。

- CHECK!**
- カセットこんろ
 - 燃料のボンベ(多め)



「おびひろ暮らしと防災ガイド」でも、冬の防災を掲載しています。



ウエブ版はこちら

車内で救助を待つとき

車が雪に埋もれた状態でエンジンをかけ続けると、排気ガスが車内に充満して一酸化炭素中毒死する恐れがあります。

- ・原則、エンジンを停止する
- ・防寒具などで体温の低下を防ぐ
- ・防寒などでやむを得ずエンジンをかけるときは、排気口とその周辺を除雪する

車内に積んでおくべきもの

- CHECK!**
- スコップ
 - 防寒着、手袋、長靴
 - 毛布、使い捨てカイロ
 - けん引ロープ



火災から命を守る

大地震による被害は、家屋の倒壊や津波によるものばかりを考えがちですが、関東大震災、阪神・淡路大震災、東日本大震災で共通するのは「火災」による被害です。

冬は暖房器具や空気の乾燥、強風により、延焼拡大などの危険が高まります。また、地震による停電から復旧した際に、ストーブに接触した可燃物に引火したり、シヨ

防災イベントのお知らせ

冬季防災訓練

冬の災害を想定した救助訓練などのほか、学校の体育館に宿泊して避難所生活を体験します。会場には多目的トイレやスロープがあるので、足が不自由な人も参加しやすい訓練です。

日時 1月27日(土) 13時30分～28日(日) 8時
(日帰りは27日19時まで)

場所 帯広小学校(西8南5)

定員 各先着、日帰り50人、宿泊50人

申込 12月25日(月)～1月17日(水)までに、電話で総務課へ。



防災グッズ展

家庭での防災用品や市の備蓄資材を展示します。

日時 1月9日(火)～12日(金)、9時～17時
(最終日は15時まで)

場所 市民ホール(市庁舎1階)

弾道ミサイル落下時の行動

北朝鮮からミサイルが発射された場合、わずか10分以内に日本に到達する可能性もあります。ミサイル発射情報があったら、落ち着いて、速やかに避難行動をとってください。

市民の皆さんへのお知らせ

国が携帯電話に緊急速報メッセージを配信するほか、市内の消防署などからサイレンとアナウンスを放送してお知らせします。

屋外にいる場合

建物の中か地下に避難する。近くに建物がないときは物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。

屋内にいる場合

窓から離れるか、窓のない部屋に移動する。

詳しくは

国民保護ポータルサイト 検索

地域で行う防災活動を支援



阪神・淡路大震災の火災(提供:神戸市)

市では皆さんの防災に関する理解を深めてもらうため、町内会などのグループ・団体からの希望に応じて職員が訪問し、防災講話や各種防災訓練を行っています。実施希望は気軽にご相談ください。